

# 症例検討会（第1回）のご案内

令和元年5月23日 18:30～

場所：熊本医療センター研修センター

## 症例1

出題者 熊本医療センター 鹿島 星林 技師

患者：60代 女性

現病歴：C型肝炎にてIFN治療後、5年ぶりに外来受診。CTにて甲状腺左葉に腫瘤を認めた。頸部超音波検査では、境界明瞭、内部エコー不均一な低エコー、大きさは33.8×27.3×36.7 mmであった。腺腫様甲状腺腫、濾胞腺腫疑われ、甲状腺腫瘤より穿刺吸引細胞診を施行。

既往歴：C型肝炎

材料：甲状腺穿刺

<解答>

- ① 腺腫様甲状腺腫
- ② 乳頭癌
- ③ 扁平上皮癌
- ④ 悪性リンパ腫
- ⑤ 未分化癌
- ⑥ 腎細胞癌の転移

## 症例2

出題者 熊本大学病院 古田 沙織 技師

患者：60代 女性

現病歴：1年半前より右耳下部腫瘤を自覚し、MRIでは非典型的な悪性が除外できず当院紹介。

頭頸部MRIでは右耳下腺深部に長径25mm大の辺縁不整、内部不均一な充実性腫瘍性病変を認める。

検体：耳下腺穿刺

<解答>

- ① 正常腺房細胞
- ② オンコサイトーマ
- ③ 腺房細胞癌
- ④ 低悪性度粘表皮癌
- ⑤ 腺様嚢胞癌
- ⑥ 唾液腺導管癌
- ⑦ 乳腺相似分泌癌

なお、今回の解答者は以下の方々（敬称略）ですので、必ず出席してください。

事情があって欠席の方は、代わりの人をお願いしてください。

	解答者 A	解答者 B
症例 1	堤 優里子	志賀 有紗
症例 2	福田 梢	吉野 歩



担当 熊本赤十字病院 山下 祐 Tel. 096-384-2111 (内線:6380)